

会議等の概要（議事録）

名 称	市民の皆さんとミーティング（地域巡回⑦）
開催日時	平成29年9月4日（月） 19:00～20:40
開催場所	市役所新庁舎 大会議室
出席者	市民参加者…23人 市長、企画部長、次長、総合政策課参事（2人）・補佐、環境産業部長、総務課秘書係長・主査、地域情報課長・広報広聴係長
案 件	①市長市政報告 ②市民の皆さんとミーティング（意見交換）
概 要	<p>①市長市政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次能代市総合計画1次素案 ・自主防災組織・防災士について <p>②市民の皆さんとミーティング（意見交換）</p> <p>Q 防災行政無線が聞こえないとの声が多い。市で防災情報のメール配信サービスを実施しているが登録者数を教えてほしい。防災行政無線で放送すると同時にメール配信すると、聞こえない問題が解決するし、市のホームページにアップすると3つのソースから確認できることになる。また、消防情報テレホン（52-9999）もメール配信したらどうか。</p> <p>A 防災行政無線が聞こえないとの声が多いが、反面、うるさいとの声もあり困っている。安心安全に係るものはうるさいといわれても放送するのでご理解いただきたい。テレホンサービスも行っているが回線が少ないし有料であることから、改善ができないか検討している。携帯電話のメールを使うことについても検討していきたい。登録者数については約千人である。</p> <p>Q 支援物資が被災者に届かず大量に廃棄されることがある。物資を輸送する人を事前に決めておくとういのではないか。</p> <p>A 誰がどこで被災するかわからないので事前に決めてもうまく機能するとは限らない。防災士などの地域のリーダーを決めておき、災害があったときは対応をお願いした方がよいと思っている。</p> <p>Q 奨学金の申請に市税の納税証明書の添付が必要になった。憲法で教育を受ける権利が保障されているのにどうして入口を狭めるのか。撤廃してもらいたい。</p> <p>A 奨学金の滞納が増えたことから納税証明書の添付を求めている。市税で運営していることもあり、返還が見込めない人には貸しにくいこともある。しかし、奨学金を借りてもらえない状況も出てきており、それらも含めて検討していきたい。</p> <p>Q 防災行政無線の放送では、危機感を持った言い方や表現をおこなってほしい。</p> <p>A その場の状況にあった判断をし、臨機応変に、わかりやすく自分の言葉でいうことを徹底している。</p>

Q柳町はジャスコを誘致した。決して大型店に反対しているのではない。メリットがあるといった当初の計画から4割近く縮小している。もう一度丁寧な説明をしてほしい。納得したい。

A10年前に農振解除が終わっている。開発許可申請の事前協議がなされており、本申請すると許可される。シミュレーションの説明会をしても、イオン出店の是か非かという話にはならない。

Qあのシミュレーションはシミュレーションとはいえないのではないか。

A今回のシミュレーションは、前回のシミュレーションと同じ形で市議会に出した。

Q北高跡地について、更地で標高もあり比較的安全な場所なので、災害時に活用できるコミュニティーエリアとして整備してはどうか。公園とか屋内で子どもが遊べる施設等を整備し、災害時は遊具等を防災用品に変えられるようにしたらよい。また、災害時は子どもを預ける場所が無い。そこに預けられるようにしたらよいと思う。

Aいろいろな利活用を検討している。防災機能を持たせることも今後の検討課題としたい。子どもを安心して遊ばせる場所については北高跡地に限らず考えていきたい。屋根付の遊び場については、河畔公園整備時にアンケート調査をしたが整備を必要とする回答が少なかった。必要とする人とそうでない人がいる。もう一度、精査することも必要であるがご理解願いたい。

Q今回のイオンの計画では、どういうテナントが入るのが提示されていない。今まで進出しなかった理由として「テナントが集まらない」「資材の高騰」がいわれていたが、本当にテナントは集まるのか。市長が市民に説明するのも大事だが、イオンも市民に説明するべきではないか。

Aテナントは協議中であり、計画書の中に入れることができないとのことであった。イオンからの説明は、大店法の中でやることになる。

Qイオンの進出で商店街に影響が出るのは分かっていることだ。5%、10%売り上げが落ちたとして、5年、10年と続くと売り上げが無いようなものになる。開発を許可する前にイオンに説明会を開催するよう要望してほしい。

A強制力はないが、イオンに要望している。

Q能代と二ツ井の自治会組織が合併していない。二ツ井の自治会と一緒に活動できるようにしてほしい。

A話し合いの場を設けて、お互いに共通認識を持って前に進めるようにしていきたい。

Q陸上競技場の駐車場が不足している。大きな大会を開くのは難しい。駐車場を整備する計画はあるのか。また、避難場所になっていると思うが、塀が高くてすぐには入れない状況だ。

A陸上競技場は落合に移転させる計画もあったが、利便性の点から現在地に整備してほしいとの要望があり、関係者や周辺住民の理解を得て、駐車場が狭いのを承知で整備した経緯がある。しかし、大会時には周辺の皆さんに迷惑が掛かっているので、駐車場を増やせないか検討したい。避難所になっているかは確認して連絡する。→指定緊急避難場所になっている。

Q風の松原を使ってでも、サブトラックを整備してほしい。

Aサブトラックは必要と思うが、土地がないため整備できない。風の松原を使うこともできない。

Q空き家が全国的に問題となっている。8月31日に全国空き家対策推進協議会がおこなわれたが、能代市も出席したのか。出席していれば、能代市空家等対策協議会と内容的に違ったことがあったのか教えてほしい。

A後日回答する。→全国空き家対策推進協議会には入っているが会議には出席していない。市の空家等対策協議会との関連はない。

Q空き家バンクの利用状況は。

A28年度は5件登録して2件成約となった。現時点では成約済みも含めて12件登録されている

Q空き家は古くなれば、建材の飛散や虫の発生等の苦情がでる。自治会としても働きかけるが、市からも働きかけをお願いしたい。

A市でも相談があれば、所有者を探してほしい。理解を得られないケースも多いが、付近の住民に迷惑がかからないよう、市としてもいろいろな手法を考えながら努力している。

Q仙台の人の中には女川原発を再稼働しないで、秋田県に風力発電をもっと作れという人がいる。能代の風力発電をこれ以上多くすると、人が減り空き家が増えるなどの弊害がでる。この4月に、能代市内で東北電力立会いのもと、ある数字を測った。その数字が高かったので危惧していたが、偶然かもしれないが大瀬団地で事故があった。これからこのようなことが日々おこるのではないか。風の松原から内陸側で新しい事業をやるのであれば市でも考えてほしい。

A今後、新たな計画が出たときは、人体や自然環境への影響を十二分に精査したうえで進めていきたい。

Q大会議室（旧議事堂）にはじめてきたが、壁が汚い。施工業者にやり直させたらどうか。

A新庁舎建設は最小限の費用で行っている。工事に壁の塗装が入っていないかもしれない。確認させてもらう。

Q庁舎の建設工事が遅れて、工事費が増えたのか。

A狭い土地で建てたので、地中熱の工事と建設工事が重なるなどして工期を延ばしたが工事費は増やしていない。